

発行日: 2026-01-08

バージョン 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 Pan-branch Ubiquitin TUBE-UBQLN1 Assay Kit (Anti-rabbit IgG Secondary)

製品番号 17452

キット構成要素 56389: Pan-branch Ubiquitin TUBE-UBQLN1 Coated Microwells
13272: Anti-rabbit IgG, HRP-linked Antibody (ELISA Formulated)
11083: ELISA Sample Diluent
13339: Detection Antibody Diluent
13515: HRP Diluent
7002: STOP Solution
7004: TMB Substrate
9801: ELISA Wash Buffer (20X)
9803: Cell Lysis Buffer (10X)

安全データシートの供給者の詳細

製造者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

供給者

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分 1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
区分 2 腎臓	
水生環境有害性 - 急性	区分 3
水生環境有害性 - 慢性	区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語
危険

危険有害性情報

H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H371 - 臓器の障害のおそれ
 H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き**安全対策**

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。粉じんを吸入しないこと。取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報**キット 構成要素**

7002: STOP Solution

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
マレイン酸	3-7	-	-	110-16-7

キット 構成要素

9803: Cell Lysis Buffer (10X)

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	10	-	-	9002-93-1

キット 構成要素

7004: TMB Substrate

9801: ELISA Wash Buffer (20X)

11083: ELISA Sample Diluent

13339: Detection Antibody Diluent

13515: HRP Diluent

Red HRP-Linked Antibody (Lyophilized)

Green Detection Antibody (Lyophilized)

Ab Coated Microwells

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

4. 応急措置**吸入した場合**

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。呼吸困難な場合には、酸素を投与すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

眼に入った場合	直ちに医師の手当てを受ける必要がある。直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。
飲み込んだ場合	医師の手当てを受けること。水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。無理に吐かせないこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	以下の影響を引き起こす可能性のあるキット構成要素が含まれています。症状に関する詳細な情報については、個々の構成要素のSDSを参照してください。腐食性。重要な食道や消化管の炎症ややけどには摂取後に発生することがあります。この製品の液体、エアゾール及び蒸気は刺激性であり、刺すような感覚及び/又は微細な粉じんが眼に入ったような感覚を伴う傷み、流涙、発赤、及び腫脹生じる可能性がある。気道刺激、重度の場合には、いくつかのケースでは曝露後24-72時間まで発症までの期間が延びてしまうことがあり、肺水腫に進行することができます。動物由来の生物を含みます。敏感な人にアレルギー反応を起こすことがあります。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合があります。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない
特有の危険有害性	本製品は眼、皮膚、及び粘膜の薬傷を引き起こす。熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。火災および/または爆発時には、ヒュームを吸い込まないこと。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

緊急時対応要員以外の人用	人員を安全な区域に避難させること。人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を使用する。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	地下水を汚染してはならない。環境中に放出しないこと。地上水または下水施設に流さないこと。漏れた物質を泡で覆い、発火の危険性を低減すること。安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	機械的にすくい取り、適切な容器に収容して廃棄すること。液体流出物のかなり前方に防液堤を築き、後で廃棄する。不活性吸収剤で吸収すること。汚染された表面を十分に浄化すること。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を着用する。十分換気されているか確認
----------	--

すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸保護具を着用する。密閉系の装置や機器を使用して取り扱う。そうでない場合は、適切な換気が確保されている場所でのみ取り扱う。

保管

保管条件 直射日光を避ける。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム
許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的許容値	該当しない。
環境ばく露防止	情報なし
保護具	
呼吸用保護具	【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	不浸透性手袋
眼及び又は顔面の保護具	密着性の高い安全ゴーグル 顔面シールド
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

キット構成要素 物理状態 外観 色 pH	7004: TMB Substrate 液体 無色透明 淡黄色 3.3-3.8 (20 °C)
キット構成要素 物理状態 外観 色 pH	7002: STOP Solution 液体 無色透明 無色 1.2 (20 °C)
キット構成要素 物理状態 外観 色 pH	9801: ELISA Wash Buffer (20X) 液体 無色透明 無色 6.4 (20 °C)
キット構成要素 物理状態 外観 色 pH	11083: ELISA Sample Diluent 液体 無色透明 青色 7.1 (20 °C)

キット 構成要素 物理状態 外観 色 pH	9803: Cell Lysis Buffer (10X) 液体 無色透明 無色 7.5 (20 °C)
キット 構成要素 物理状態 外観 色 pH	13339: Detection Antibody Diluent 液体 無色透明 緑色 7.4 (20 °C)
キット 構成要素 外観 色	13272: Anti-rabbit IgG, HRP-linked Antibody (ELISA Formulated) 凍結乾燥したケーキ、粉末 赤色
キット 構成要素 物理状態 外観 色 pH	13515: HRP Diluent 液体 無色透明 赤色 7.4 (20 °C)
キット 構成要素 物理状態	56389: Pan-branch Ubiquitin TUBE-UBQLN1 Coated Microwells 固体

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定
避けるべき条件	極度の温度及び直射日光。長期間にわたって、アジ化ナトリウムは配管システム内の銅、鉛、真鍮、またははんだと反応して、爆発性の高いアジ化鉛およびアジ化銅の化合物の蓄積を形成する可能性があります。
混蝕危険生成物	強酸及び強塩基と混触禁止、酸化剤と混触禁止
危険有害性分解生成物	熱分解によって有毒／腐食性のガス及び蒸気を放出する可能性がある

11. 有害性情報

急性毒性

成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ポリ(オキシエチレン)＝ p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル＝エーテル	= 1700 mg/kg (Rat) = 1800 mg/kg (Rat)	-	-
マレイン酸	708 mg/kg (Rat)	1,560 mg/kg (Rabbit)	> 0.72 mg/L (Rat) 1h

症状

以下の影響を引き起こす可能性のあるキット 構成要素が含まれています。症状に関する詳細な情報については、個々の構成要素のSDSを参照してください。腐食性。重要な食道や消化管の炎症ややけどには摂取後に発生することがあります。この製品の液体、エアゾール及び蒸気は刺激性であり、刺すような感覚及び／又は微細な粉じんが眼に入ったような感覚を伴う傷み、流涙、発赤、及び腫脹生じる可能性があります。気道刺激、重度の場合には、いくつかのケースでは曝露後24-72時間まで発症までの期間が延びてしまうことがあり、肺水腫に進行することができます。動物由来の生物を含みます。敏感な人にアレルギー

一反応を起こすことがあります。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。

製品情報

経口

キット 構成要素
経口

7002: STOP Solution
飲み込むと消化管及び気道の上部に薬傷を引き起こす

吸入

キット 構成要素
吸入

7002: STOP Solution
吸入すると有害のおそれ

皮膚接触

キット 構成要素
皮膚接触

7002: STOP Solution
皮膚に腐食性

眼接触

キット 構成要素
眼接触

7002: STOP Solution
眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある

キット 構成要素
眼接触

9803: Cell Lysis Buffer (10X)
一時的な眼刺激を引き起こすおそれがある

皮膚腐食性／刺激性

キット 構成要素
皮膚腐食性／刺激性

7002: STOP Solution
薬傷を引き起こす

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

キット 構成要素
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

7002: STOP Solution
眼に重度の傷害を与えるリスクがある

呼吸器感作性又は皮膚感作性

キット 構成要素
皮膚感作性

7002: STOP Solution
皮膚接触により感作を引き起こすことがある

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

情報なし

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

臓器の障害のおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし

キット構成要素
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 7002: STOP Solution
腎臓

誤えん有害性 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

成分情報

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	-	LC50 8.9 mg/l (Pimephales promelas) 96 h	EC50 26 mg/l (Daphnia) 48 h
マレイン酸	-	LC50: =5mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50: 250 - 400mg/L (48h, Daphnia magna)

残留性・分解性

キット構成要素
残留性・分解性 7002: STOP Solution
易生分解性

キット構成要素
残留性・分解性 9801: ELISA Wash Buffer (20X)
難分解性

生態蓄積性

キット構成要素
生態蓄積性 7002: STOP Solution
生物濃縮される可能性は低い

キット構成要素
生態蓄積性 9801: ELISA Wash Buffer (20X)
生物濃縮される可能性は低い

化学名又は一般名	分配係数
マレイン酸	-0.34

移動性

キット構成要素
移動性 7002: STOP Solution
水溶性のため環境中で移動性になる可能性がある

キット構成要素
移動性 9801: ELISA Wash Buffer (20X)
水溶性のため環境中で移動性になる可能性がある

他の有害影響

内分泌かく乱物質情報 内分泌かく乱物質であることが知られている、又は疑われる物質を含む。

化学名又は一般名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	日本-内分泌かく乱物質情報
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル	Endocrine disrupting properties, Article 57f - environment	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
 汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号 UN3265
 品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, organic, n.o.s. (maleic acid)
 国連分類(輸送における危険有害性 8
 クラス)
 容器等級 III

ADR

国連番号又はID番号 UN3265
 品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, organic, n.o.s. (maleic acid)
 国連分類(輸送における危険有害性 8
 クラス)
 容器等級 III

IATA

国連番号又はID番号 UN3265
 品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, organic, n.o.s. (maleic acid)
 国連分類(輸送における危険有害性 8
 クラス)
 容器等級 III

日本

国連番号又はID番号 UN3265
 品名(国連輸送名) 腐食性液体、酸性、有機物、(他に品名が明示されているものを除く)
 国連分類(輸送における危険有害性 8
 クラス)
 容器等級 III

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

化学名又は一般名	含有率 %	区分	管理番号
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9002-93-1	10	第1種指定化学物質	408

労働安全衛生法

化学名又は一般名	区分	含有率 %
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル 9002-93-1	安衛法表示対象物質 (令和8年 4月1日以降)	10
マレイン酸 110-16-7	安衛法表示対象物質 (令和7年 4月1日以降)	3-7

	皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質	
--	--------------------------------------	--

16. その他の情報

発行日: 2026-01-08

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA:	時間加重平均値	Ceiling:	最大限值:
*	皮膚兆候	+	感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

- 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
- 米国環境保護庁ChemViewデータベース
- 欧州化学品局
- 欧州食品安全機関(EFSA)
- 米国環境保護庁
- 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
- 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
- 米国環境保護庁高生産量化学物質
- フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
- 危険有害性物質データベース
- 国際統一化学情報データベース(IUCLID)
- 日本政府によるGHS分類
- オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
- NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
- 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
- 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
- 米国国家毒性プログラム(NTP)
- ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
- 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
- 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
- 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
- RTECS (化学物質毒性データ総覧)
- 世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終